

あ お も り
町村
自治

2024 **10** No.1244

令和6年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
知事と市町村長との協議の場（町村の部）	4
30町村特集紙面 Discover My Aomori 30町村にいらっしやいませ。	8
いまが旬！	10
エッセイ 平内町長 船橋 茂久 氏	14



第10回ハクチョウのまちフォトコンテスト最優秀賞作品
(題名：光を纏って 堤 彰)

特別天然記念物「小湊のハクチョウおよびその渡来地」

平内町の浅所海岸を基点とする夏泊半島一帯はハクチョウの渡来地として、文化財保護法により全国で唯一「特別天然記念物」に指定されています。この素晴らしい景観と眺望は後世に守り伝えていかなければならない貴重な自然環境であることから、町では「ハクチョウのまち」として様々な取組を行っています。

その一つに「ハクチョウのまちフォトコンテスト」として、毎年10月から1月まで、ハクチョウの写真を募集しております。渡来地の景観やハクチョウの表情を収めた1枚をコンテストに応募してみませんか。詳細については、公式インスタグラム「白鳥と平内町」(@hakuchou_hiranai)をご覧ください。

ひらないまち
平内町



HAKUCHOU_HIRANAI

本会定期総会を開催



令和5年度決算等を審議した定期総会



あいさつする小又会長

本会は8月21日、大鰐町の青森ワイナリーホテルで第2回定期総会を開催した。令和5年度本会会務報告、収入支出決算などを原案どおり承認、決定した。定期総会には町村長27人が出席した。

総会の冒頭で、小又会長からあいさつがあり、最近の活動が報告された。報告では、重点施策提案に係る国会議員説明会や、内閣府ほか関係省庁に対して行った重点施策提案活動、北海道東北六県町村会協議会として自民党、総務省や復興庁に対し行った要請活動などに言及し、「今後とも直面する様々な課題の解決に向け、本県町村の声を全国に届けていく。一層のご支援・ご協力をお願いする」と述べた。

引き続き、県主催で「知事と市町村長との協議の場（町村の部）」が開催された。【4ページ】

協議の場の終了後、小又会長が議長となって議事に入った。令和5年度の会務報告や収支決算など議案4件を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

総会議事の概要は次のとおり。

○議案第1号 令和5年度青森県町村会会務報告Ⅱ

①コロナ禍による影響が残り、気象災害の頻発や諸物価の高騰などにより町村を取り巻く環境が厳しさを増す中、地方創生の推進や町村財政基盤の確立など、町村が抱える諸課題の解決に向けて、県、全国町村会及び関係団体との緊密な連携のうえ、積極的に実施した。

②提言・要望に関して、県、市長会と合同で令和6年度重点施策提案について国会議員、総務省など関係省庁等へ提案書を提出した。また、知事と市町村長との意見交換会において県政に対する提言書を提出したほか、道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に係る要望活動を県、市長会と合同で行った。

③政務調査委員会に関して、町村財政の安定等のための負担金等委員会は、法令外44団体の負担金、寄付金等を協議、決定した。

④町村の魅力発信事業の助成に関して、本県町村の魅力をより一層高め全国に発信する必要があること、また、新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、町村が地域の実情に応じて関連する対策事業を実施する必要があることから、

(公財)青森県市町村振興協会の助成を受け、町村が実施する事業に対し助成金を交付し支援した。

⑤町村経済活性化のため令和2年度からマイクロツーリズムの推進に取り組んでおり、その一環として、県内地元3紙に各町村の魅力を広く伝える特集紙面「Discover My Aomori 私たちの30町村にいらっしやいませ」を掲載した。また、青森県民を対象に県内町村への流動を活発化させるとともに、町村の魅力の再発見を促進するため、令和4年度に引き続き「30町村にいらっしやいませキャンペーン」第2弾を実施した。

⑥町村長の健康管理の一環として、例年どおり健康管理研修会及び総合健診を実施したほか、脳ドック検診を受診した町村長に対して助成金を交付する町村長脳ドック助成制度を実施した。

⑦本会事業運営の基盤である各種共済事業の推進や、自治功労者表彰の実施、各種研修、町村職員採用試験、広報活動などを事業計画に基づいて実施したほか、本会に事務局を

置く各団体も含めて、積極的な協力・協調体制で事業を実施した。(事項別概要略)

○**議案第2号** 令和5年度一般会計決算の概要は、収入済総額2億5550万8574円、支出済総額2億3712万7304円で、差引き1838万1270円の残額を生じ、このうち財政調整基金規程第二条の定めるところにより、920万円を基金へ繰り入れ、残額918万1270円を翌年度へ繰り越すものである。

○**議案第3号** 令和5年度特別会計決算の概要は、収入済総額4944万265円、支出済総額4802万8279円で、差引利益106万1386円により純資産435万4776円となり、一般会計に400万円を繰り出すものである。

○**議案第4号** 令和6年度青森県町村会一般会計補正予算(補正第1号)案Ⅱ収入支出予算の総額に収入支出それぞれ1103万5000円を増額し、収入支出予算の総額を収入支出それぞれ3億292万6000円とする。

定期総会 提案事項等 を決定

第3回理事会を開催



本会は定期総会に先立つ7月30日、青森市の県共同ビルで第3回理事会を開催した。出席者は、小又会長をはじめ役員町村長12人。

理事会では、令和5年度本会会務報告、一般会計収支決算の認定など議案4件の審議と、本会創立100周年記念式典開催案、定期総会に併せて県主催で実施する知事と市町村長との協議の場での本会からの意見交換テーマなどの協議事項4件をそれぞれ原案どおり承認、決定した。会務報告及び収支決算等は、定期総会に提案することとした。

議案

○**議案第1号** 令和5年度本会会務報告について同意を求めるの件

○**議案第2号** 令和5年度本一般会計収支決算について同意を求めるの件

○**議案第3号** 令和5年度本会公有物件共済事業等特別会計収入支出決算について同意を求めるの件

○**議案第4号** 令和6年度本一般会計補正予算(補正第1号)案

協議事項

○**協議事項1** 本会創立100周年記念式典開催案について

○**協議事項2** 令和6年度県政に対する提言について

○**協議事項3** 令和6年度知事と市町村長との協議の場(町村の部)について

○**協議事項4** 令和6年度町村長行政調査研修について

5年度の 決算を認定

生協支部委員会

全国町村職員生活協同組合県支部は、本会理事会終了後、第2回委員会を開催した。

委員会では、同支部の令和5年度収支決算など議案2件を審議し、原案どおり承認、決定した。

議案

○**議案第1号** 令和5年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計収支決算について認定を求めるの件

○**議案第2号** 令和6年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算(補正第1号)案

人口減少対策への

共通理解を図る

知事と市町村長との協議の場

8月21日、県は「知事と市町村長との協議の場（町村部）」を開催した。これは、例年開催していた市町村長会議を改め、町村長が一堂に会する本会総会に併せて実施されたもの。

冒頭の宮下知事のあいさつに続き、本会の小又会長が宮



宮下知事に提言書を手交する小又会長

下知事に対し10項目にわたる県政への提言書を手交した。引き続き、意見交換では本会提案の意見交換テーマ「人口減少対策について」、県提案の意見交換テーマ「自然・地域と再生可能エネルギーとの共生制度」関係、「地域県民局の見直し」関係について活発な議論が行われた。

■人口減少対策について

はじめに、小又会長が本県の状況を説明。県内30町村の出生数が25年前から62%減少した一方、東京都は出生数と女性人口共に増加している資料を示し、「地方の人口構造に偏在があることは明白。東京一極集中の是正こそが急務の国家的課題」と指摘した。さらに、本県の人口減少の要因に県外への転出超過を挙げ

た。特に本県では、高校卒業を機に就職で県外に転出する割合が高く、高校生の県内就職を促進するためには県内求人数の底上げや、親世代に向けた県内就職への理解が必要であると述べた。

これを受け宮下知事は、県庁や町村の役場が特に町村では最大の企業主体であることから「女性や若者に選ばれる町役場、村役場そして県庁を目指していきたい」と参加の町村長に訴えた。

また、町村長からも若者や女性が県内に留まるための意識や教育のあり方、魅力ある企業などについて意見が述べられた。

■「自然・地域と再生可能エネルギーとの共生制度」関係
「地域県民局の見直し」関係

続く県提案の意見交換テーマでは、宮下知事がそれぞれの現状を説明。

町村長からは、再生可能エネルギー関連企業の本社が発電施設の立地地域外にあることの問題点や、小規模施設への規制などについて意見が述べられた。

義務教育学校・ふるさと納税を視察

町村長行政調査研修

本会は9月18日、19日、町村長20人が参加し北海道白糠町で行政調査研修を実施した。

はじめに、町立庶路学園で川島教育長から教育目標や子育て支援の説明を受けた。平成30年4月に開校した庶路学園は小学校と中学校の枠を取り払った4・3・2制の義務教育学校で、認定こども園も併設している。教育の特色は幼少期から英語、中国語の指導のほか、情操を育むための音楽では講師として地域おこし協力隊を招聘している。開



棚野白糠町長から説明を受ける一行

校した平成30年からは、認定こども園の在籍児童数が急増したほか町内世帯数が当初推計より増加するなど人口減の抑制にもつながっている。

次に、町役場で棚野町長（北海道町村会長）から令和元年度から町村別で全国1位となっているふるさと納税とまちづくりの取組について説明を受けた。

平成8年度から全事務事業の見直しと切り切った行財政改革を進め、平成17年から第一次産業の再興と振興を図るため食と食材をキーワードとした「しらぬかブランド」の確立を目指した。平成18年には楽天市場へ自治体初となる「しらぬか町商店」を出店。これにより全国へ『白糠町』と町の豊富な食材が紹介され販路拡大などの効果があった。現在のふるさと納税は多数のポータルサイトから選択でき、寄付金額は平成27年度の1億5900万円から令和5年度には167億7800万円まで伸びたほか、ふるさと納税関連企業が町内に進出するなど経済活動が活性化し地域振興につながっている。

北海道東北六県町村会協議会（会長＝棚野北海道町村会

地方創生の推進 などを要請

北海道東北六県町村会協議会



井上自由民主党幹事長代理（中央）



大沢総務省自治財政局長（中央）

長）は、8月5日に東京都内で、令和7年度政府予算編成並びに施策に関する要請及び東日本大震災に関する特別要請活動を行った。

要請活動には各道県の会長等が出席し、本会からは小又会長が出席した。当日は、井上自由民主党幹事長代理、大沢総務省自治財政局長、原総務省総務審議官、平沼復興大臣政務官に提案書を提出し、要望項目の実現を強く求めた。

要請項目は次のとおり。

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村自治の確立について
- 3 町村財政基盤の強化について
- 4 マイナンバーカードの安全・安定的な運用について
- 5 防災・減災、国土強靱化対策について
- 6 地域医療の充実について
- 7 少子化社会対策の推進について
- 8 農業・農村対策の推進について
- 9 森林・林業対策の推進について
- 10 水産業対策の推進について
- 11 脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの積極的な活用について
- 12 持続的な鉄道網の確立について（①東北②北海道）
- 13 新幹線鉄道の建設促進及び並行在来線への財政支援について
- 14 道路網の整備促進及び生活交通路線の維持・確保について
- 15 北方領土の早期返還について

原子力立地地域の 将来像・基本方針 を議論

第2回共創会議



経済産業省資源エネルギー庁は7月1日、青森県の原子力立地地域の振興策を話し合う、第2回「青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議」を青森市のウェディングプラザアラスカで開催した。

この会議には、宮下知事や原子力施設が立地する4市町村の首長のほか、事業者、資源エネルギー庁長官など計11人が委員として参加した。

会議は、令和5年11月の初

会合以降、実務担当者を中心としたワーキンググループで立地4市町村の要望を考慮しながら協議してきた。第2回となる今回の会議では、資源エネルギー庁が立地地域の「将来像」とその実現に向けた「基本方針」を提示。取組例の素案には、防災拠点や避難道路、研究開発拠点の整備支援など16項目を掲げた。

■小又会長発言

委員として出席した小又会長は、避難経路の多重化を図るため、「原子力防災に資する道路整備等」に下北半島と津軽半島を1時間で結ぶ「むつ湾フェリーの運航確保」を加えるよう検討を求めた。また、避難道路を巡る記述に対し「調査と検討」だけでなく、『整備の促進を図る』など、着実に整備が進むと感じ取れる表現にしていたか」と述べた。さらに、交通インフラの整備はエネルギー庁の所管外だと認識したうえで、「国、関係省庁の一体としての取組を促すことに共創会議の意味があると感じている」と強調した。

効果的な面接試験とは

人物試験評価者講習

本会は県市長会との共催により、7月2日、青森市のホテル青森で人物試験評価者講習を開催した。出席者は市町村の人事担当管理職員等29人。

ループに分けて意見交換や模擬面接を実施した。

研修会は本会の原田常務理事のあいさつ後、公益財団法人日本人事試験研究センター事務局参与の鈴木利男氏が講師を務めた。鈴木氏は、面接試験の特徴や問題点を確認したうえで、質問や評価技法の向上をテーマに講義を行った。

特に近年、受験生が面接試験の事前準備をしつかりと行っているため、面接官にも同様の準備が求められることや、受験生が事前準備しにくい質問について説明があった。

研修後アンケートでは、「質問すべきこと、評価ポイントなど整理することができた」「事前の準備が大事なことや、聞き出す方法などがよく分かった」「面接のポイントが明確で分かりやすい」との声が寄せられた。

研修では、映像教材を用い、問題のある面接官の事例確認や、受験生の評定練習を行った。また、受講生をゲ



講師を務めた日本人事試験研究センターの鈴木氏

青森県町村長等名簿

令和6年10月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区分		町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	4	R 9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9.18	2	R 8. 7.23	飯田哲
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	2	R 7. 4.23	松橋稔
	蓬田村	久慈修一	S25. 8. 1	3	R 7.11. 8	小松生佳
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	2	R 7.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	4	R 6.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	1	R 7. 2.20	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	4	R 9.11.19	三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	4	R 8. 7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2.10	5	R 6.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R 8. 8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	2	R 7. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	2	R 9.10.26	江刺家和夫
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	5	R 7. 4.23	仁和圭昭
	六戸町	佐藤陽大	S48.11. 4	1	R10. 1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	1	R 6.12.11	
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	1	R 7. 4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	3	R 8. 3.25	小向仁生
下北郡	六ヶ所村	戸田衛	S22. 1.28	3	R 8. 7. 6	橋本晋
	大間町	野崎尚文	S30.11.17	1	R 7. 1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37. 7.14	1	R 7. 4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	2	R 7. 2.18	
三戸郡	佐井村	太田直樹	S50. 7.14	1	R 8. 4.26	田名部二郎
	三戸町	松尾和彦	S38. 5. 9	2	R 6.12.15	馬場浩治
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R 9. 6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	4	R10. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	7	R 8. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45. 4.24	1	R 7.12.23	澤田充
新郷村	櫻井雅洋	S27. 5.25	2	R 7. 5.28	横田堅悦	

町村の専門人材の確保に向けた第2回連絡会議を開催

本会は、8月28日、第2回「町村の専門人材の確保に関する連絡会議」を青森市の県共同ビルで開催した。出席者は18町村の人事担当者等18人はじめに、本会の原田常務理事があいさつし、続いて事務局が5月30日に開催した第1回連絡会議での発言の総括を報告した。

■保健師の養成と実習受け入れの課題

その後、青森県立保健大学健康科学部看護学科の千葉敦子教授が、「保健師の現状と人材育成―県内保健師就職率向上を目指して―」と題し講演した。

近年、町村で特に採用が難しくなっている保健師について千葉教授は、実習後に保健

師の仕事に魅力を感じる学生がいるものの、保健師の実習を受ける前にほとんどの学生が看護師として就職が決まっている現状を説明。大学では、早い時期に自主的にインターシップへ行くよう学生に呼びかけており、町村でも実習を受け入れるよう協力を求めた。



県立保健大学の千葉教授が講演

■職員採用環境の変化と対策

続いて、株式会社リクルートマネジメントソリューションズの福田一貴氏が「職員採用をとりまく環境と求められる変化―母集団を拡大させ、優秀な人材を採用するために―」と題しオンラインで講演した。福田氏は、人口減少による公務員志望者の減少や、職員に求められる能力の高度化などを説明し、求める人材像の明確化や適性検査の重要性を説いた。

令和6年度全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表

月 日	時間	大会・会議等	会 場	主 催 者
11月6日(水)	13:00	安全・安心の道づくりを求める全国大会	砂防会館 別館	全国道路利用者会議 道路整備促進期成同盟会全国協議会 全国高速道路建設協議会 全国街路事業促進協議会
11月7日(木)	13:00	都市基盤整備事業推進大会	砂防会館 別館	全国街路事業促進協議会 全国土地区画整理事業推進協議会 都市再開発促進協議会 全国連続立体交差事業促進協議会
11月11日(月)	13:30	災害復旧促進全国大会	砂防会館 別館	全国防災協会
11月12日(火)	10:30	半島振興対策促進大会	J A 共済ビル カンファレンスホール	全国半島振興市町村協議会 他
11月12日(火)	13:30	治水事業促進全国大会	砂防会館 別館	全国治水期成同盟会連合会
11月12日(火)	14:00	ダム・発電関係市町村全国協議会理事会	全国町村会館	ダム・発電関係市町村全国協議会
11月13日(水)	12:00	第68回町村議会議長全国大会	N H Kホール	全国町村議会議長会
11月14日(木)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館 別館	全国治水砂防協会
11月15日(金)	13:00	国保制度改善強化全国大会	砂防会館 別館	国民健康保険中央会
11月18日(月)	12:00	全国過疎地域連盟第56回総会	ニッショーホール	全国過疎地域連盟
11月19日(火)	18:00	県選出国會議員との懇談会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月20日(水)	10:00	第69回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館 別館	全国簡易水道協議会
11月20日(水)	12:00	全国町村長大会	N H Kホール	全国町村会(行政部)
11月20日(水)	15:30	北東北三県町村長中央研修会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月20日(水)	17:15	北東北三県町村長中央交流会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月20日(水)	15:00	全国防災・危機管理トップセミナー	全国都市会館	総務省消防庁国民保護・防災部防災課
11月21日(木)	10:00	水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会	全国町村会館	全国市町村水産業振興対策協議会
11月21日(木)	10:30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	全国山村振興連盟
11月21日(木)	13:00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	(公財)日本環境整備教育センター	全国浄化槽推進市町村協議会
11月21日(木)	14:00	全国観光地所在町村協議会総会	全国町村会館	全国観光地所在町村協議会



問い合わせ先 蓬田村役場 総務課 企画財政班
TEL 0174-27-2111

「作るだけではなく、トマトを産む村だからこそその美味しい加工品を」と考え結成された「蓬田トマト加工グループ」が手がける絶品のトマト加工品です。最初の商品「とまとけちゃっぷ」を含む、全7種類を販売しておりその全てに完熟した美味しい蓬田村産のトマトを使用しています。

「物産館マルシェよもぎた」では是非お買い求めください。

村特産のトマトの旨味がぎゅっと凝縮した加工品

いまが旬!
よもぎたむら
蓬田村

東津軽郡



問い合わせ先 道の駅いなかだて「弥生の里」
TEL 0172-58-4411

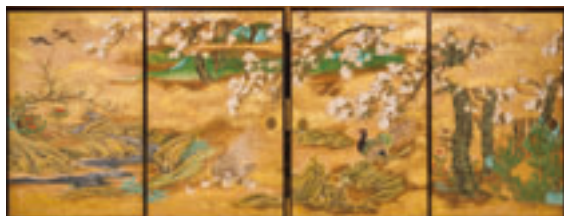
田舎館産の大豆を原材料にした味噌を、ふんだんに盛り込んだ県内初のソフトクリームです。クリーミーなバニラの甘さと、味噌の香ばしさが溶け合い、優しい“甘じょっぱさ”が口いっぱいに広がります。

「道の駅いなかだて」で販売しておりますので、お越しの際はぜひご賞味ください。

まるで生キャラメルのような味わい!味噌ソフト

いまが旬!
いなかだてむら
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 中泊町文化観光交流協会
TEL 0173-57-9030

中泊町尾別にある大正ロマン漂う旧家宮越家。離れ「詩夢庵」を装飾するステンドグラス作品はわが国ステンドグラスの先駆者・小川三知の最高傑作と位置づけられています。今秋の公開(10月4日~11月10日)ではイギリスの大英博物館所蔵の襖絵と一連の作品であるとされる襖絵「花鳥図」にご注目ください。

宮越家 離れ・庭園
秋公開中

いまが旬!
なかとまりまち
中泊町

北津軽郡



問い合わせ先 六戸ブランド研究会(六戸町観光協会)
TEL 0176-55-4495

「青森シャモロック ザ・プレミアム #6」は、地鶏本来の味を追求するために、選抜したオスを通常期間からさらに30日間延長飼育し、ガーリック粉末を加え旨味成分を高める特別飼料を給与しました。

弾むような肉を噛みしめれば、ジューシーかつパワフルな旨味が口いっぱいに広がります。また、お出汁は、濃厚なのに雑味のないすっきりした味わいです。

青森シャモロックザ・プレミアム #6(ナンバーシックス)

いまが旬!
ろくのへまち
六戸町

上北郡

いまが旬!

おいらせ町

おいらせまち

上北郡

今年もおいらせ町に白鳥が帰ってきます

県内有数の白鳥飛来地である下田公園の間木堤には、例年10月中旬頃から白鳥が飛来します。12月から翌2月にはピークを迎え、去年は多い日には1,000羽を超える白鳥が観測されています。

また、間木堤は野鳥の宝庫でもあり、堤のほとりにある「ネイチャーセンター白鳥の家」では白鳥だけではなくたくさんの野鳥を観察することができます。

広々とした公園は、1年を通じていつ訪れても豊かな自然を満喫できます。ぜひ遊びに来てください。



問い合わせ先 おいらせ町役場 商工観光課
TEL 0178-56-4703

いまが旬!

東通村

ひがしとおりむら

下北郡

とろける舌触り! 東通牛

東通牛は、村内で生まれた子牛が良好な環境と徹底した個体飼育管理のもと愛情込めて育てられています。きめ細かなサシの入りが絶妙で舌触りと深い味わいが自慢の安心・安全な和牛です。

下北のしばれる冬にはあったかい料理! 東通牛を使ってひと味違うすき焼きはいかがですか? 東通牛精肉は村内のスーパーで販売している他、毎月9のつく日に野牛川レストハウスにおいて特売をおこなっております。



問い合わせ先 東通村役場 商工観光課
TEL 0175-33-2125

いまが旬!

三戸町

さんのへまち

三戸郡

『馬場のぼる ゆかりの地を巡るバスツアー』開催!!

三戸町出身で人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズの作者である馬場のぼるさんのゆかりの地をガイド付きで巡るバスツアーを11月2日(土)に開催します!

ゆかりの地ほか、「11ぴきのねこ」の石像を見たり、リンゴ狩り体験をしたりと、三戸町を存分に楽しむことができます。

今年度は初めての秋季開催で例年のバスツアーとは違う三戸町の魅力を体験しにぜひご参加ください。



問い合わせ先 三戸町役場 まちづくり推進課
TEL 0179-20-1117

いまが旬!

田子町

たっこまぞ

三戸郡

山の上で、日常の疲れを癒しませんか? ロッジカウベル

ロッジカウベルは、田子町の大黒森頂上付近にある宿泊施設です。

大自然に囲まれたこの施設では様々な景色を見ることができ、夜は「星空日本一」にも輝いたことがある満天の星空が、朝には部屋のデッキから雲海や朝陽の絶景を見ることが出来ます。

また、宿泊だけでなく、キャンプやレクリエーションなど様々なイベントでも利用できます。

ぜひご来館ください。



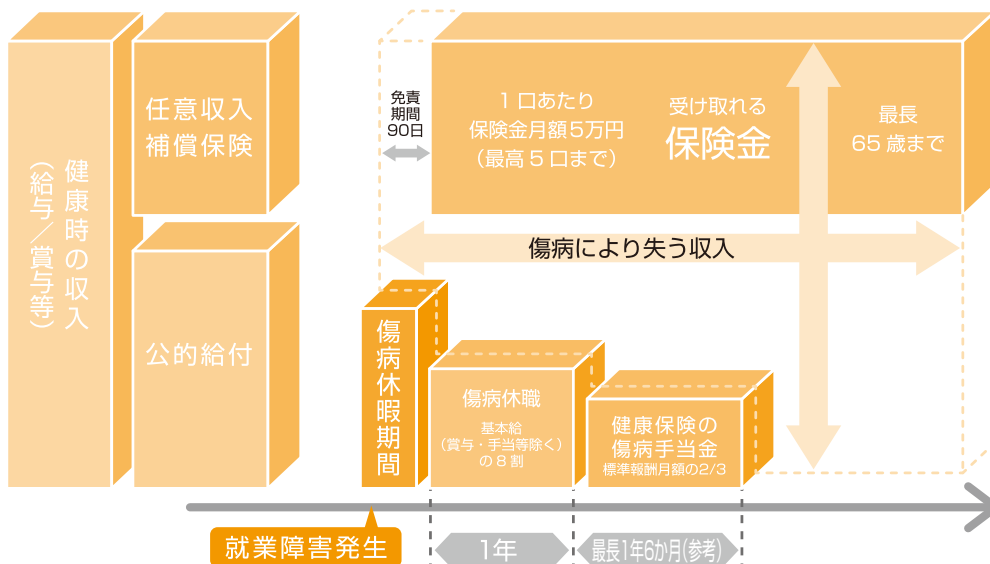
問い合わせ先 天空の宿 ロッジカウベル
TEL 0179-32-2462

任意収入補償保険

精神疾患を原因とする場合も補償！

ケガ・病気で長期間働けなくなり収入が減少した場合、最長65歳まで保険金が支払われます。

補償のイメージ



月払掛金 (1口 = 保険金月額5万円あたり)

年齢・性別	男性	女性	年齢・性別	男性	女性
15~24歳	467円	357円	45~49歳	1,579円	1,867円
25~29歳	495円	501円	50~54歳	2,093円	2,360円
30~34歳	602円	671円	55~59歳	2,490円	2,535円
35~39歳	784円	972円	60~64歳	2,362円	2,163円
40~44歳	1,112円	1,327円			

新規加入募集 お申し込みは令和6年10月



老後の生活設計実現のために

個人年金共済

- ◆ 在職中に掛金を払込み、退職時に受取方法を選択できます
 - ◆ 在職中に脱退された場合でも、脱退一時金を受け取ることができますので、教育・結婚資金などの効率的な準備手段としても活用できます
- ※脱退後、通常の募集時に再加入できます

加入コース ※いずれか1つのコースに加入することも、両方のコースに加入することもできます。

税制適格コース	保険料は「個人年金保険料控除」対象
一般コース	保険料は「一般生命保険料控除」対象

掛金 ※払込方法は「月払」と「月払・ボーナス払(半年払)の併用」の2つがあります。

掛金	月払 (4月契約開始)	ボーナス払 (6月契約開始)
	1口：2,000円 (1~50口)	1口：10,000円 (1~50口)

積立金の運用 積立金は、予定金利に基づき運用します。運用実績が予定金利を上回る場合は、その上回った部分から配当金として積立金に加算します。

給付内容

- 配偶者年金付終身年金 (15年保証期間付)
- 終身年金 (15年保証期間付)
- 15年確定年金
- 10年確定年金
- 5年確定年金 (一般コース)
- 一時金受取り

新規加入募集 お申し込みは令和6年12月



任意共済

「任意共済」は任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険をまとめた名称です

【任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険】

- ◆「死亡や高度障がい」「入院や手術」「病気・ケガによる長期にわたる収入減収」に備える、全国町村会の団体割引が適用された保険です
- ◆ライフプランに合わせて、3つの保険から必要なものを選んで加入することができます

毎年の収支を計算し、剰余が生じたときは配当金として還付！
加入時の医師の診査不要、健康状態の告知のみで加入可能！

任意生命保険

職員・配偶者・子どもが死亡または高度障がいになった場合に保険金が支払われます。

保険金の種類

支払事由	支払われる保険金
疾病による死亡(高度障がい)の場合	死亡保険金(高度障がい保険金)
不慮の事故による死亡(高度障がい)の場合	死亡保険金+災害保険金(高度障がい保険金+災害高度障がい保険金)

保険金額は3,000万円・2,500万円・2,000万円・1,500万円・1,000万円・800万円・600万円・400万円・200万円から選択できます。*配偶者は、1,000万円以下から、子どもは400万円以下から選択

月払掛金の例

保険金額		3,000万円	2,000万円	1,000万円	600万円	200万円
男性	15~35歳	3,600円	2,400円	1,200円	720円	240円
	36~40歳	4,290円	2,860円	1,430円	858円	286円
	41~45歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円
	46~50歳	7,170円	4,780円	2,390円	1,434円	478円
女性	15~35歳	2,430円	1,620円	810円	486円	162円
	36~40歳	3,450円	2,300円	1,150円	690円	230円
	41~45歳	4,050円	2,700円	1,350円	810円	270円
	46~50歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円

任意医療保険

職員・配偶者・子どもが入院・手術した場合、日数や内容に応じ給付金が支払われます。

主な給付金の種類

給付の名称	支払事由	支払金額
入院給付金	ケガや病気により1泊2日以上継続して入院したとき	入院給付金日額×入院日数
入院療養給付金	入院給付金が支払われる入院をしたとき	入院給付金日額×5
手術給付金(20倍)	1泊2日以上継続した入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術を受けたとき	入院給付金日額×20
手術給付金(5倍)	外来または日帰り入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術を受けたとき	入院給付金日額×5

入院給付金日額は12,000円・10,000円・8,000円・5,000円・3,000円から選択できます。
*職員は5,000円以上から、配偶者は10,000円以下から、子どもは5,000円以下から選択

月払掛金の例

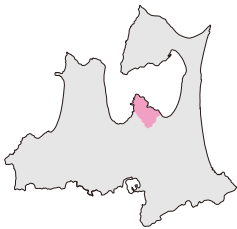
入院給付金日額	12,000円	10,000円	5,000円	3,000円
20~24歳	2,292円	1,910円	955円	573円
25~29歳	2,832円	2,360円	1,180円	708円
30~34歳	3,084円	2,570円	1,285円	771円
35~39歳	3,204円	2,670円	1,335円	801円
40~44歳	3,420円	2,850円	1,425円	855円
45~49歳	4,032円	3,360円	1,680円	1,008円

昭和は遠くになりけり



今年も、町の有志による「歌と踊りの地域交流チャリティーショー」の招待状と共に、歌の出演依頼の便りが届いた。私の十八番は、少年時代から聞き慣れ、親しんだ、また、東京での大学卒業後、古里（青森）に帰ることを後押ししてくれた、三橋美智也先生の「リンゴ村から」である。
♪ おぼえているかい 子供の頃に 二人で遊んだ あの山・小川
昔とちつとも 変わっちゃいない 帰っておくれよ 俺（おい）らのナ
俺らの胸に ♪

わが町も例にもれず、交流チャリティーショーに出演、来場する町民の多くが昭和世代の高齢者であるが、お世辞にもうまいとは云えない、こんな私の歌でも「町長さんの歌、また来年もぜひとも聞かせてほしい。」と、一部の固定（熱狂）ファンがいることは、誠に嬉しい限りである。
町も、人口が多かった昭和の昔に比べ、今は人口も半分近くとなり、活気が失われつつある中、ほんのひと時かも知れないけれども、町民の皆さんが、昔を懐かしみ、笑い、喜び、幸せに包まれた、かけがえない時間を共有できることは、望外の喜びと感じている。
私は、戦後、昭和24年に、旧東平内村に生まれ、（※平内町は、昭和30年に、旧東平内村、小湊町、西平内村が合併して誕生。）多くの同級生（世帯）が等しく貧しく、中学、高校を卒業と同時にふるさと青森を離れ、金の卵とし



ふなはし
船橋

平内町長

しげひさ
茂久



青森県のほぼ中央に位置する町で、「小湊のハクチョウおよびその渡来地」として国の特別天然記念物に指定される夏泊半島や、四季を通じて楽しめる夜越山森林公園など風光明媚な自然を体感できます。また、「ホタテ王国」として知られる平内のホタテは、肉厚で濃厚な旨みと甘みが絶品です。

ての首都圏への集団就職。私は、恵まれたことに、大学に進学することもでき、また、昭和52年のあすなる国体を控え、職員採用枠も多かったことから、運よく県庁職員に採用され、私なりに多くの失敗を重ねながらも、たくさんの素晴らしい先輩、同僚、後輩に支えてもらいながら、定年まで勤め上げることができたものと思っています。中堅職員時代には、上司との折り合いが悪く、人事異動で飛ばされた異動先に、私の机、椅子がなかったという珍事経験（苦い思い出）も、町長となつた今では、町職員には絶対こんな思いはさせまいと、大切な教訓のひとつとして、記憶しています。
これらの県庁時代の貴重な経験から、職員には、辞令交付式など、事あるごとに、自然界には存在しない「青いクマ」のことを訓示。



④焦るな、⑤怒るな、⑥威張るな、⑦腐るな、⑧負けるなと、言い続けています。
（きつと、職員には、大不評。口うるさい昭和オヤジの独り言と思っていることでしょう。）
町の未来は、職員の皆さんの力によるのですが、大きいものです。時代小説が好きなら私からすれば、時代劇、水戸の黄門様ではありませんが、「お天道様は、きつとみてくれてるはず、悪の栄えたためしなし。」の言葉どおり、努力した先には、苦勞が報われる未来があるはずですよ。
最後に、県庁時代家庭を顧みず、子育ても任せきりで、先に旅立ってしまった妻に少しでも罪滅ぼしができるよう、今後とも、職員と共に力をあわせ町（町民）を守っていきたい。